



## カッコいい選手になろう

スポーツに関する名言をいくつか紹介します。ピンチのときに思い浮かべてください。「きついときほど笑っていようかな」(阿部慎之助)、「どんな強いプレーヤーに囲まれても、全員にチャンスはある」(石川遼)、「たられば」はやめた。時間は前にしか進んでいけないから」(小倉隆史)、「弱気は最大の敵」(津田恒美)「体のサイズは関係ない。ハートのサイズが大切」(アリ・アバ・ソリ)。ピンチがチャンスに変わりますように!

一部の部活動では、すでに夏季総体が始まっていますが、今週末から本格的に始まります。

スポーツでは、なぜ一生懸命応援できたり、無心に競技できたりするのでしょうか。それは、同じルールのもとで競技するからです。だから、勝つと「うれしい」のです。うれしいから、また「勝ちたい」と思います。そこで、勝つために労を惜しまず、一生懸命練習します。一生懸命練習するから「上達します」。だからさらに強くなります。また、強い人は、相手のどこが強いのか、何が強いのかを真剣に調査して自分に生かそうとします。そのために、相手の試合を真剣に見ています。だからさらに強くなります。マスコミでは、よく「天才少年」などと報道されることがあります。学問に天才はいるかもしれませんが、スポーツに恵まれた体の選手はいても、天才はいません。天才とは、努力する天才であり、一生懸命に努力してきた選手だけが「勝つ喜び」を味わうことができると思っています。

私は、4月初めの職員会で、先生方に「“勝てる部活動” “勝つ喜び” を教えてください」とお願いしました。それ以後の部活動を見ていると、顧問の先生やコーチの方が大変熱心に指導していただいていることがわかります。また、選手であるみなさんも、先生方の指導にこたえて、熱心に練習しています。強くなっているチームは、練習に活気や活力を感じます。大きい声が出ているし、真剣さの中に笑いがあって、明るい雰囲気があります。1学期間でそんな部活動が増えてきました。ですから、きっとよい結果が出るだろうと楽しみにしています。本番では、最後まであきらめずがんばってください。

強いチームのユニホームは、カッコよく見えます。カッコいい選手は、きびきびと動いています。カッコいい選手は、礼儀正しいです。カッコいい選手は、大きい声で挨拶ができています。ユニホームがかっこいいのではなく、着ている選手がカッコいいから、カッコいいユニホームに見えるのです。みなさんのユニホームが、カッコよく思われるように、ユニホーム姿の詫間中学校の選手がカッコよく見えるように頑張ってください。そして、勝ってきてください。 ※ 全校集会(7/4)の話から

## 地域の一員として

- 7月10日(日)午前8時から、「町内一斉環境美化活動」があります。これは、公民館が主催している行事で、毎年7月と12月の2回、分館・自治会ごとに一斉に空き缶集めなどを行っているものです。今回は、地区夏季総体の日と重なっているため参加できない人もいますが、できるだけ家族と共に参加し、地域の一員としての役割を果たしてほしいと思います。
- 7月31日(日)午前7時から、「詫間ゆめ街道クリーン作戦」があります。これは、毎年8月の第二土曜日に行われる詫間港まつりを前に、JR詫間駅から大塚会館までのメインストリートをきれいにしようというもので、昨年から中学校も参加しています。参加希望者は、先日配付した参加申込書を提出してください。これも、踊りと同じように、港まつりを盛り上げるパフォーマンスの一つです。
- “今、私たちにできること”として、学校における節電を意識しています。4月から6月までの結果は

右のグラフのようになっています。前年度より10%削減を目標に取り組んでいますが、4月は-10.6%減でクリアしたものの、5月は+10.6%増、6月は+8.2%増となっています。太陽光発電が設置されていない一昨年に比べると少なくなっていますが、2か月連続して増加しています。昨年より雨が多く、太陽光発電量が少ないことも考えられますが、まだまだ節電の意識が低いのも事実です。7月は、何とか目標が達成できるよう、みんなでがんばりましょう。あなたも日本を支える一人です。

